

平成 30 年度 1 学期始業式の話 (平成 30 年 4 月 9 日)

校長 内木 晃

〇はじめに

- ・皆さん、あらためておはようございます。先ほどは転入者代表としてご挨拶しましたので、今度はあらためて校長としてご挨拶いたします。
- ・春休みもあっという間に終わり、今日からまた学校生活が始まります。やはり学校は生徒が主役、春休み中の学校は生徒不在でひっそりしていました。なんとなく寂しい思いをしておりましたが、今日から再び活気を取り戻しました。
- ・さて、皆さん春休みはどんなふうに過ごしましたか。なんとなく過ごしてしまって、まだ休みボケから抜けられないという人もいるかもしれませんね。明日から授業が再開します。気分一新、また頑張っていきましょう。

〇電撃ニュース

- ・ところでみなさん、突然ですが、今朝（4／9）、サッカーワールドカップ日本代表のハリル監督が「監督を解任された」という電撃ニュースが飛び込んできました。ご存じでしたか？ ハリル監督は、サムライジャパンをワールドカップ出場に導いてくれたものの、本大会まで3カ月を切り、直前の国際親善試合でなかなか勝てず、その指導力に不安を覚えた協会が解任に踏み切った、というのが理由です。勝負の世界とはとても厳しいものですね。
- ・話がそれましたが、実は私、今日のお話の中で、もともとあるサッカー日本代表選手のことをお話ししようとしていたんです。これから私が紹介するその選手とはいったい誰なのか？ 少しお時間をいただきますが、皆さん、一緒に考えながら聞いてください。

〇すべては自分次第で変えられる

- ・その選手は決して恵まれた体格をしていません。身長も170センチなく、世界のサッカー選手の中でもかなり小さい部類に入っています。彼はイタリアのプロリーグで活躍する大人気の選手で(当時)、全日本のメンバーには欠かせない存在になりました。
- ・彼は、小学校1年生からサッカーを始めました。当時の性格は泣き虫で負けず嫌いの少年だったそうです。
- ・彼は、小学校3年生の時に、両親が離婚して母子家庭で育ちました。離婚が原因で当時は大人の男性を信用しない子どもだったそうです。
- ・兄弟3人の子どもを女手一つで育ててくれた母親の後姿を見て育った彼は、「僕が、世界で活躍できるまでになった強い心をつくってくれたのは、この母親のおかげです」と語っています。
- ・そんな彼がこんなことを言っています。

「僕は豊かな才能を持ったサッカー選手じゃない。だからこそ、人の何倍も努力しなければ上へは行けない。僕から努力をとったら何も残らない！」

「思い通りにいかなかったり、うまくいかないとき、それを環境のせいにしてはいけない。すべては自分次第で変えられる！」

- ・さあ、この選手、彼とはいったい誰でしょうか？ わかる人だれか教えてください？
(ある3年生の男子生徒が手を挙げ答えてくれました。)
「長友選手っ！」
- ・はい、その通り、答えは長友智也選手です。答えてくれてありがとう。他の皆さんはどうでしたか？、おおよそ見当がついていた人、多いのではないのでしょうか、

○長友智也選手から学ぶこと

- ・さて、みなさん、結果をだす人と、出せない人を分けていくのは一体何だと思いますか？ それは「結果が見えないときに、いかに頑張ってきたかどうか」だと思います。
- ・新2年生、新3年生の皆さん、君たちの後輩、新入生が今日入学してきます。皆さんが入学した1年前、2年前を思い起こしてください。今の自分と比べて「自分にできたこと、できなかったこと」を。新年度をスタートする節目の今日は、各自でそのことをもう一度整理してみるいい機会です。

○やっと1年、もう1年、まだ1年・・・

- ・これまでこつこつと努力しがんばってきた人、確実に蓄えを身につけた人です。ぜひそれをさらに大きく膨らませてください。その努力は既にあなたの自信につながっているはずです。ただし油断しないでください。自信も過信になると思わぬ落とし穴が待っています。
- ・一方、十分な財産を身につけることができていない人、その悔しさをばねにもう一度奮起する気持ちを持ちましょう。壁にぶつかり挫折することは決して悪いことではありません。そこから、いかに立ちあがるかが大切なのです。
- ・2年生は「やっと1年過ぎた？ もう1年過ぎてしまった！」、
3年生は「まだ1年ある？ あと1年もない！」、
とらえ方は人それぞれですが、新年度の節目こそ気持ちの整理を行うには絶好の機会です。
- ・学校は学びの場です。学校では自分に足りないものがあるから学ぶ。その意味で学校は君たちに多様な学ぶ機会を提供します。当然ですが授業は学校生活の大部分を占めます。ですから何よりもまず授業を大切にしてほしい。これは基本です。

○おわりに、エールを送ります

- ・長友選手のことばを繰り返します。「思い通りにいかなかったり、うまくいかないとき、それを環境のせいにしてはいけない。すべては自分次第で変えられる。」
- ・そう、あきらめない限り、決して終わりではありません。勉強だけでなく、部活動、人間関係、将来の進路目標、あなたの日常生活、恋だって、みんなそうです。今日から再スタートする学校生活を充実したものにして欲しいと願っています。

以上、新学期のスタートにあたり、皆さんに呼びかけたい私からのエールです。お互いに頑張りましょう。おわります。